

岡崎市議会議長

様

支出番号

会派名 チャレンジ岡崎・無所属の会

代表者名 杉山 智騎



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

令和 2年 3月 27日提出

活動年月日	令和 2年 2月 3日 (月) ~ 令和 2年 2月 5日 (水)	
氏名	江村 力、杉山 智騎、小田 高之	
用務先 及び 内容	1	用務先 京都府京都市
	2月3日	内容 放課後まなび教室について
	2	用務先 兵庫県姫路市
	2月4日	内容 観光行政について
	3	用務先 広島県広島市
	2月5日	内容 広島市総合福祉センターについて
	4	用務先
	月 日	内容
備考		



令和元年度 行政視察報告書

令和2年3月27日(金)

チャレンジ岡崎・無所属の会 江村 力

杉山 智騎

小田 高之

1. 視察日程

令和2年2月3日(月)～2月5日(水)

2. 視察先及び視察内容

- (1) 京都府京都市
放課後まなび教室について
- (2) 兵庫県姫路市
観光行政について
- (3) 広島県広島市
広島市総合福祉センターについて

3. 視察内容

(1)京都市 放課後まなび教室について

□京都市の概況

多くの国宝や重要文化財などを有し、山紫水明の美しい自然と落ち着いた都市景観との調和がとれた歴史都市、伝統文化のあらゆる分野で技術や技法が受け継がれ、作品は「京もの」と呼ばれ親しまれている。葵祭、祇園祭、京都五山の送り火、時代祭りなどの伝統行事が催され、国内外から多くの観光客が訪れる。文化庁の京都への全面的な移転の方針も決定し、遅くとも2021年度中の移転を目指し準備を進めている。

京都議定書誕生の地として先進的な役割を果たすため、全国初となる地球温暖化対策に特化した条例を制定し、「温室効果ガス排出量を1990年度比で2020年度までに25%、2030年度までに40%削減、長期的には80%削減する」目標を掲げている。その目標の着実な達成を目指し、低炭素社会実現に向けた戦略〈プロジェクトゼロへの道〉として、未来を見据えた取り組みを展開している。

□全小学校区で「放課後まなび教室」を開催・運営

今日の社会情勢や生活実態が変形変化する中で、学校で子供たちが自主的に学ぶ場や体験活動の場、また安心・安全な活動拠点を確保することが課題となっている。こうした状況を踏まえ平成 19 年度に国においてすべての児童を対象とした「放課後子ども教室推進事業」と、昼間留守家庭児童を対象とした「放課後児童健全育成事業（学童クラブ事業）」を二つの柱とする「放課後子どもプラン」が創設された。

京都市では放課後の子どもたちのための取り組みとして

○放課後対策事業（居場所づくり）

- ・「放課後まなび教室」小学生対象（13,106 人）
- ・児童館事業（0 歳から 18 歳の児童と保護者対象）
- ・学童クラブ事業（昼間留守家庭の小学生対象）

○土曜学習(学力向上)

- ・全小中学校で実施(月一回から 2 回程度)

○未来スタディサポート教室事業(学力向上)

- ・全中学校で実施（テスト前の集中実施や曜日を決めて実施）

○その他

- ・校庭開放、学校図書館開放、部活動、補習

など、多方面から実施している。特にその中でも小学生を対象とした「放課後まなび教室」は全国でも際立った事業として特色を放っている。

【放課後まなび教室】について

学校施設を活用し、地域の方々、PTA、学生等の皆様の参画のもと、子どもたちの学習習慣づけを図る「自主的な学びの場」と「安心安全な居場所」を提供する取り組みである。京都市立の全小中学校で実施している。

(概要)

対象	原則として、その小学校に在籍する児童
費用	参加費は無料で、保険料は一人当たり年額 800 円
日時	月曜日から金曜日のうち、週 3 日から 5 日(学校により異なる) 授業終了後から最長午後 6 時まで
場所	学校専用教室、図書室、特別教室など
活動内容	○自主学习・・・宿題、予習、復習、プリント、読書、音読など ○創作・交流・体験活動・・・手芸、工作、折り紙、百人一首、パズル、

将棋など

- 季節的・定期的行事・・・陶芸教室、押し花づくり、年賀状づくり、

漢字

検定など

運営 学校ごとに組織する実行委員会に委託

実施 ○体制学習アドバイザー（退職校長18人）

教室の責任者、安全管理、活動の支援

○学習サポーター

学習アドバイザー(1,888人)の補佐、活動の支援

□岡崎市への提言

京都での「放課後まなび教室」での子供たちは「みんなと一緒に自主学習すると、やる気が出てくる。」「宿題が早く終わるので嬉しい。」「地域の方とお話をしたり、活動したりできるので楽しい。」との声があり、また保護者からも「自分自身の時間的・精神的なゆとりが生まれた。」「普段の授業や家庭では経験できない貴重な場となっている。」「子供の人間関係の幅が広がった。」と言う好意的な声が多く聞かれているそうである。さらに、全国学力テストの結果も右肩上がり伸びていて、京都市の子供の学力はかなり高い。

残念ながら本市では、「放課後の子供教室」で学習が行われていない。早急に、ボランティアを募集し、小学校の空き教室を利用して、放課後の子供の自主的な学び教室を実施すべきである。

(2) 兵庫県姫路市 観光行政について

□兵庫県姫路市

人口 53.6万人、面積 534.48km²

県の南西部、播磨平野の中央に位置し、播磨灘を望む。播磨国風土記が残る古くより栄え、池田輝政により築城された世界文化遺産・姫路城により繁栄。戦後は播磨臨海工業地帯の中心都市として発展し、96年に中核市に移行。06年3月に家島町・夢前町・香寺町・安富町を編入。15年に近隣7市8町（相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、石川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町）と連携協約を締結し、播磨圏域連携中核都市圏構想を推進。黒田官兵衛を輩出し、姫路城が築城。

□観光行政について

①姫路市の観光施策

- 1 姫路城大天守保存修理事業に合わせた取組
- 2 官兵衛プロジェクトの推進
- 3 姫路城大天守グランドオープン



観光施策（姫路城観光）の転換点

②姫路市観光戦略プラン

- ・策定の背景（目的）
 - 姫路市の観光を取り巻く状況の変化
 - 姫路市文化コンベンションセンターの建設
 - 東京オリンピック・パラリンピックの開催
- ・基本テーマ
 - 「観光を通して、愛し愛されるまち 姫路」
- ・計画期間
 - 平成 29 年（2017 年）4 月～令和 4 年（2022 年）3 月
- ・数値目標
 - 姫路市総入込客数 年間 1,000 万人以上
 - 姫路城の外国人入場者数 年間 40 万人以上
 - 市内宿泊施設の客室稼働率 概ね月平均 70%以上
- ・基本政策（施策）
 - 観光客の受入環境の充実
 - 滞在型観光の推進
 - インバウンド観光の推進
 - MICE の推進

③特別史跡姫路城跡の文化的価値の活用

姫路城の保存継承とあるべき姿の創出を目指すとともに、姫路城の新たな価値を広く国内外に発信

【取り組み例】

- ・特別史跡姫路城跡整備基本計画（平成 33 年度改訂予定）等に基づき、姫路城を起点とした周遊性向上に寄与し、多くの観光客が利用できる休憩施設整備の検討を行う。

- ・「リビングヒストリー」(生きた歴史の体験プログラム)に取り組むなど、姫路城の保存活用を通じ、姫路城の新たな価値、文化、歴史を広く国内外に発信。

□所感

国宝であり、世界遺産である姫路城の存在は非常に大きい。しかし、その存在に甘えることなく、行政としても戦略を取り、更なる観光施策を行っている。姫路市の大きな課題としては滞在型の観光である。利便性が良く、駅からも近い姫路城ということもあり、数時間～半日での観光が多く、宿泊を伴う観光客が伸び悩んでいる。そこで、食や体験メニューの充実等、姫路市における滞在型観光を進める施策を展開。また、姫路城・ナイトファンタジア おとぎ幻影伝、姫路城から朝日を望むなどの大型イベントも展開。それに合わせ、シティプロモーションの具体的な施策、MICEの推進など先手を打って観光都市を築いている。本市も観光都市を目指しているのであれば、大々的な方針を立てて集中的に行なわないといけない。姫路市は市民の意識を高く、学校教育の中で愛国心を育てている。岡崎市も観光だけで考えるのではなく、総合プランを打ち出し、観光、教育、交通、まちづくりなど全庁で取り組むべきだと考えます。徳川家康公、岡崎城、ジャズ、その他神社仏閣など統合的・総合的に考え、どのような街なら遊びに行きたいか、泊まって観光したいかを吟味する段階にきていると考えます。バラバラな施策ではなく統一感ある施策にすることを強く要望いたします。

(3) 広島県広島市 広島市総合福祉センターについて

□広島県広島市

人口 1,194,034 人 面積 906,69 k m²

原爆被曝という悲劇の歴史を乗り越え、中国地方の中核都市として発展。自動車関連産業やスポーツ、農林水産業、観光業など多様な産業の中心地。

□広島市総合福祉センター

広島市総合福祉センターは市内の①福祉の交流拠点、②福祉人材の育成③地域福祉センターが行う事業への支援を目的とし、平成 28 年 12 月に開設された施設である。整備費用は約 20 億円、市有ではあるが、広島市社会福祉協議会が指定管理者として運営をしており、当該施設には、多くの福祉、介護、生涯学習にかかわる団体が関係団体として名を連ねている。

当該センターの特色はその立地にある。

JR 広島駅南口の再開発事業により建設されたビル(地下 2 階、地上 52 階建て)の 5F,6F

の一部で運営されている当該施設は JR、バス、路面電車といった公共交通機関の結節点に位置していることで多様な人々の交通アクセスを担保している。また、車での移動が必要な利用者さんのために駐車場料金は全て指定管理料で負担することとしており、障がい者、福祉支援を必要とするひとびとへの配慮が行き届いているように感じた。

□所感

公共施設を交通結節点に重点的に再配置することは時代のおおきな流れです。インフラの効率化等、行財政的な視点はもちろんのこと、受益者である市民にとり、移動の選択肢が増えることは利便性が増すこととなります。

そのなかで、福祉の支援を必要とするひとびとだからこそ、交通結節点に拠点を整備することが必要なのかもしれない。

さて、東岡崎駅周辺の再整備が進んでおり、「岡ビル」の再開発も現実味をおびてきたと先日の議会での議論がありました。どのような成り行きとなるか、いまだにわからないところが多いとはおもいますが、「再開発ビル」の一角に拠点を構えたのが広島方式であるとするならば、岡崎市もそれについて一考の余地があるのではないかと思うところです。